

【基礎研修(1)(2)講義科目】 総講義時間 16 時間 13 分

区分	プログラム	講師* 敬称略、所属は収録時情報		収録	公開
基礎研修(1) 該当 8 科目	がん対策	厚生労働省健康局がん・疾病対策課	笠原 真吾	2020 年 6 月	2021 年 2 月
	相談支援	愛媛大学医学部附属病院	塩見 美幸	2020 年 11 月	2021 年 2 月
	社会資源	国立がん研究センター東病院 サポーターケアセンター ／がん相談支援センター	坂本 はと恵	2019 年 9 月	2020 年 1 月
	臨床腫瘍学	国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科	下井 辰徳	2020 年 6 月	2021 年 2 月
	緩和ケア	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	石木 寛人	2021 年 10 月	2022 年 2 月
	精神腫瘍学	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科	小川 朝生	2020 年 6 月	2021 年 2 月
	放射線治療	国立がん研究センター中央病院 放射線治療科	井垣 浩	2019 年 6 月	2020 年 1 月
	薬物療法	国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科	野口 瑛美	2021 年 10 月	2022 年 2 月
基礎研修(2) 該当 14 科目	相談対応の質評価	国立がん研究センターがん対策 研究所	志賀 久美子	2020 年 9 月	2021 年 2 月
	がん情報サービスの使い方	国立がん研究センター がん情報 サービスサポートセンター	宮本 紗代	2021 年 11 月	2022 年 2 月
	診療ガイドライン・エビデンス	国立病院機構九州がんセンター 国立がん研究センターがん対策 研究所	藤 也寸志 櫻井 雅代	2020 年 6 月	2021 年 2 月

ヘルスリテラシー	聖路加国際大学大学院看護学研究科看護情報学分野	中山 和弘	2022年1月	2022年2月
支持療法	国立がん研究センター中央病院看護部	藤井 恵美	2019年6月	2020年1月
臨床試験	国立がん研究センター中央病院臨床研究支援部門 研究企画推進部多施設研究支援室	江場 淳子	2019年6月	2020年1月
がんゲノム医療	国立がん研究センター中央病院先端医療科	小山 隆文	2022年1月	2022年2月
がん予防	国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究部	井上 真奈美	2020年6月	2021年2月
がん検診	国立がん研究センターがん対策研究所	高橋 宏和	2021年8月	2022年2月
肺がん	国立がん研究センター中央病院呼吸器内科	新野 祐樹	2021年10月	2022年2月
乳がん	国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科	野口 瑛美	2019年6月	2020年1月
大腸がん	国立がん研究センター中央病院消化管内科	高島 淳生	2019年6月	2020年1月
胃がん	国立がん研究センター東病院消化管内科	小谷 大輔	2020年7月	2021年2月
肝胆膵がん	国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科	奥坂 拓志	2019年6月	2020年1月

【基礎研修(1)(2)講義内容詳細】

区分	プログラム	講義内容詳細	内容分類
基礎研修(1)該当 11 科目	がん対策	<p>がんはわが国の死因の第1位であり、約2人に1人ががんになる。本講義では、国ががん対策基本法に基づいて策定しているがん対策推進基本計画と、第3期がん対策推進基本計画に沿った国のがん対策の概要を紹介する。具体的には、これまでのがん対策の経緯、第3期基本計画の概要、がん診療連携拠点病院等の指定要件、がんに関する相談支援・情報提供、地域連携、がん患者・経験者の就労支援を紹介する。</p> <p>【キーワード】 がん対策基本法、第3期がん対策推進基本計画</p>	基盤科目
	相談支援	<p>がん専門相談員は、患者や家族等の相談者がその人らしい生活や治療選択ができるように支援することを役割とする。本講義では、日本のがん対策の中でのがん専門相談員の位置づけを歴史的経緯を踏まえて説明した後、がん専門相談員にとって業務の指針となる、がん相談支援センターやがん専門相談員に求められる基本姿勢、International Cancer Information Service Group (ICISG)の“Core Values”、がん相談10の原則、がん相談支援のプロセスについて詳しく解説する。</p> <p>【キーワード】 がん専門相談員、基本姿勢、CoreValues、がん相談10の原則、がん相談支援のプロセス</p>	基盤科目
	社会資源	<p>がん患者とその家族は、がん罹患することにより、様々な社会的・経済的問題を抱える。本講義では、がん患者と家族が持つ社会的・経済的問題を解決するために有用である社会資源の種類とそれらの特徴を紹介する。また、具体的事例を紹介するとともに、社会資源の利用を推奨する際の留意点について解説する。</p> <p>【キーワード】 社会資源、公的制度、社会的・経済的問題</p>	基礎科目

	臨床腫瘍学	<p>各種がんの治療を理解するためには、がんの基礎知識を踏まえた治療の基本的な考え方を理解しておく必要がある。本講義では、がんの発生要因、がんの性質、検査から治療までの流れとともに、近年の治療の流れであるプレジジョンメディシンについて概説する。</p> <p>【キーワード】ゲノム、遺伝子、発がんの要因、腫瘍、TNM分類、検査、手術、放射線治療、がんゲノム医療、プレジジョンメディシン</p>	基礎科目
	緩和ケア	<p>緩和ケアとは、生命を脅かす疾患に罹患した患者、家族、介護者の様々な苦痛を予測、予防、軽減し、QOLを高めることである。本講義では、緩和ケアの定義の変遷を概観し、緩和ケアの目標、対象、現状（病棟数や病床数）、基本的緩和ケアと専門的緩和ケアの相違、療養場所、疼痛の評価法、オピオイドの実際を紹介する。</p> <p>【キーワード】緩和ケアとは、緩和ケアの目標・対象、専門的緩和ケア、療養場所、強オピオイド</p>	基礎科目
	精神腫瘍学	<p>がん患者・家族は、あらゆる時期において精神心理的苦痛を抱えている。精神心理的苦痛に対応するためには、その苦痛を的確にアセスメントをし、情報提供や情緒的サポートを提供するとともに、必要な専門的支援につなぐ必要がある。そのために必要な知識や支援の方法を概説する。</p> <p>【キーワード】精神腫瘍学、診断時からの支援、治療と一体となった支援、緩和ケア的アプローチ、精神疾患を持つ患者・高齢がん患者の支援、家族支援、尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築</p>	基礎科目
	放射線治療	<p>放射線治療は、手術・化学療法と並んで、がんの三大治療の一つである。本講義では、放射線治療の目的や放射線治療の装置と特徴等の基本的知識、サイバーナイフや粒子線といった最新の放射線技術、各種がんにおける放射線治療の目的、放射線治療の流れとスケジュール、放射線治療の副作用と対策、そして費用について解説をする。</p>	基礎科目

		<p>【キーワード】放射線治療、IMRT、放射線治療装置、粒子線、根治治療、緩和治療、治療開始までの流れ、副作用、費用</p>	
	薬物療法	<p>がん薬物療法の目的、がん薬物療法薬の種類、がん薬物療法の実施、がん薬物療法薬の副作用について紹介する。</p> <p>【キーワード】全身療法、集学的治療、がんの根治、生存期間の延長、QOLの改善</p>	基礎科目
基礎研修(2)該当 11科目	相談対応の質評価	<p>がん相談支援センターで求められてる品質基準を満たすためには、品質管理と品質保証が重要である。本講義では、それぞれの具体的な内容を概説し、特に相談対応の質の保証(Quality Assurance)について、がん相談対応評価表が作られた目的や経緯と使用方法やルール、自施設で相談対応モニタリングを行う際の準備や進め方について紹介する。</p> <p>【キーワード】組織における品質管理と品質保証活動、Cancer Information Service (CIS) のための“Core Values (基本姿勢) ”、がん相談 10 の原則、がん相談対応評価表、がん相談対応モニタリング</p>	実践応用科目
	がん情報サービスの使い方	<p>がん情報サービスウェブサイトは、相談員にとって情報支援の重要ツールである。また、確かで安心安全なサイトとして、相談者との共通言語ともなりうるものである。2021年のサイトリニューアルを機に、患者家族が主体的に意思決定できる一助として活用できるよう、サイトの情報収集の仕方、相談支援に活用する具体例などを解説する。</p> <p>【キーワード】がん情報サービスとは、確かながんの情報、がん情報サービスウェブサイトの活用法</p>	基礎科目
	診療ガイドライン・エビデンス	<p>患者や家族は、科学的根拠に基づく信頼できる情報を入手することにより、その人らしい生活や治療選択が出来るようになる。本講義では、先ず私たちを取り巻く医療情報と、診療ガイドラインについて紹介する。その後、がん専門相談員が目指す情報支援、ヘルスリテラシー、相談者に合わせた情報の伝え方について考察する。</p>	実践応用科目

	<p>【キーワード】 インターネット、書籍、エビデンス、診療ガイドライン、CQ形式、推奨グレード、情報支援、ヘルスリテラシー</p>	
ヘルスリテラシーと意思決定支援	<p>ヘルスリテラシーとは、健康情報を入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力であり、生涯を通じて生活の質を維持・向上させるものである。日本人はヘルスリテラシーが低く、健康情報を評価、活用する「意思決定」が困難である。自律的な自己決定を支援するためのシェアードディシジョンメイキングや最新の意思決定ガイドを紹介する。</p> <p>【キーワード】 ヘルスリテラシーとは、日本人のヘルスリテラシー、がん情報の質と評価、意思決定、シェアードディシジョンメイキング、意思決定支援、自己決定</p>	基礎科目
支持療法	<p>がん治療をおこなうにあたって、副作用や合併症の出現は不可避である。本講義では、先ずがん患者の多様な気かりや困りごとを、データに基づいて解説する。次に、手術療法・化学療法・放射線療法でおこりやすい副作用・合併症と、それぞれの症状に対するケアや日常生活上の工夫について具体的に紹介する</p> <p>【キーワード】 がん治療、支持療法、副作用、合併症、悪心・嘔吐、末梢神経障害、皮膚障害、口内炎、脱毛、リンパ浮腫</p>	実践応用科目
臨床試験	<p>最良の治療である標準治療の確立をするためには、臨床試験が必要となる。本講義では、先ず治療開発における臨床試験の位置づけや臨床試験の種類、臨床試験情報の探し方と日本の臨床試験登録システムについて紹介する。また、仮想事例をもとに、患者からの臨床試験の相談対応の方法を解説する。</p> <p>【キーワード】 臨床試験、標準治療、第Ⅰ相試験、第Ⅱ相試験、第Ⅲ相試験、治験、未承認薬、適応外薬、先進医療、患者申出療養、拡大治験、臨床試験登録システム</p>	実践応用科目

	がんゲノム医療	<p>がんゲノム医療は第3期がん対策推進基本計画の中に明記され、ゲノム医療を必要とするがん患者が全国どこにいても受けられるような体制整備が目指されている。本講義では、がん遺伝子・遺伝子パネル検査、検体、検査後の治療選択について紹介する。</p> <p>【キーワード】 がんゲノム医療の提供体制、遺伝子、遺伝子パネル検査、リキッドバイオプシー、未承認薬・適応外薬</p>	基礎科目
	がん予防	<p>日本人における科学的根拠に基づくがん予防法として、喫煙、飲酒、食生活、感染、体型、身体活動に対する5つの健康習慣が、がんになるリスクをほぼ半減させることがわかっている。がん予防の大部分は日常生活の改善でできるため、私たちは巷の情報におどらされず、がん予防の考え方を正しく理解し、伝えていくことが必要である。</p> <p>【キーワード】 科学的根拠に基づくがん予防</p>	実践応用科目
	がん検診	<p>がん検診は適切な実施により確実な効果が得られることから重要な役割を担っている。一定の集団を対象として、がん罹患している疑いのある者や、がん罹患している者を早めに発見し、必要かつ適切な診療につなげることにより、がんの死亡者の減少を目指すものである。がん検診の基本的事項、関係する法と計画、検診の利益不利益、有効性評価、精度管理、注意点、相談員に期待する役割について等の講義である。</p> <p>【キーワード】 対策型がん検診、がん検診ガイドライン、がん検診受診率</p>	実践応用科目
	肺がん	<p>肺がんは日本人に多いがんのひとつで、男性の死亡率としては最も多く、女性では大腸がんについて2番目に多い、未だ予後が不良ながんである。根治を目指した治療では手術や化学放射線治療が選択され、延命治療としては薬物療法が選択される。薬物療法は分子標的薬や免疫チェックポ</p>	各論専門科目

	<p>イント阻害薬などの薬剤の開発が今後も期待される。今回は肺がんについての一般的な経過について概説する。</p> <p>【キーワード】肺がんを理解するための基礎知識、肺がんの検査・診断、肺がんの治療</p>	
乳がん	<p>乳がんの罹患者数は増え、女性の 11 人に 1 人は乳がんを患っている。本講義では、乳房の構造と乳がん、日本における乳がんの罹患者率と死亡率、乳がん発症に関連する因子、乳がん検診について紹介する。次に、乳がんの症状、マンモグラフィや病理組織学的検査といった乳がんの検査、乳がんの診断と分類を概説する。治療では、乳房再建術を含めた手術療法、放射線療法、薬物療法を、そして妊孕性温存や化学療法の費用について紹介する。</p> <p>【キーワード】乳房、マンモグラフィ、サブタイプ分類、早期乳がん、乳房再建術、進行・再発乳がん、内分泌療法、免疫チェックポイント阻害剤</p>	各論専門科目
大腸がん	<p>ここ 50 年で大腸がんによる死亡数は約 10 倍増加している。本講義では、大腸がん部位別発症頻度や大腸癌の死亡数・リスク、診断や分類等についてまず解説する。次に、進行度別治療法を紹介した上で、大腸がんの治療法を具体的に説明する。手術では内視鏡や人工肛門増設術等について、化学療法では用いられる薬剤の成績と副作用について、最後に一般的な質問事項について説明する。</p> <p>【キーワード】内視鏡、内視鏡的治療、ストーマ、術後補助療法、切除不能再発大腸がん、副作用、緩和ケア</p>	各論専門科目
胃がん	<p>胃がんは男女共に頻度の高いがんの 1 つで、がんの死亡数では男性第 2 位、女性第 4 位となっている。本講義では、先ず胃がんを理解するための基礎知識として、死亡数・生存率・危険因子を紹介する。その後、検診・診断・進行度分類を含めた胃がんの診断について、治療アルゴリズム、各治療の内容を紹介する。</p> <p>【キーワード】胃がんを理解するための基礎知識、危険因子、検診、進行度分類、治療アルゴリズム、手術、薬物療法、放射線治療</p>	各論専門科目

	肝胆膵がん	<p>肝がん、胆道がん、膵がんは、いずれも難治性のがんである。本講義では、これら3つのがんの原因や診断・治療について、それぞれ概説していく。具体的には、肝がんでは肝炎と肝がんの関連、ラジオ療法等の局所治療を含めた治療法、医療費、胆道がんでは診断、治療法の選択と内容（特に化学療法の進歩）、膵臓がんでは診断、治療を切除例・局所進行例・遠隔転移例・免疫療法にわけて解説する。</p> <p>【キーワード】肝がん、肝炎、局所療法、胆道がん、膵がん、免疫療法</p>	各論専門 科目
--	-------	---	------------